新手を以て頑弱に抵抗してゐるが、第一、 遠定、那葉方面駅に既は茂方部隊と既たくり出し一る。その配抗は次の通り

運命を賭ける蔣介石

第九十九の石師一の九十九の石師

北支戦線から

陣官屯に揚る流蔵

|腹痛除として第二、第十二

田川創 三根據とする動は昨夜茶堅

[上亦四五前] 出序中华及商粉

徹底的に爆破

分表に無失○機は北呼は当及商務
 株は浦夏及園北方面の敵に對して ・上海四月田園 (中町十一時五十) 銀〇艦隊最遊狂鏡波=北海小戲を ・上海四月本紅唇五) 年前几時年 ・上海四月本紅唇五) 年前几時年

強御飯用、お色まどゆご四頭立て

| 附近速を整一近く双腕することへ

とお後の態数を強かに現場へ襲へ

ムツソリーニ首相

句獨逸を訪問

コンミユニケを發表

統当門の戦

動いて流走する原本の場所、実にチャッカー が解系の手を終っていました。 日日は職は強いがくれることが内 一層解系の手を終っていました。 日日は職は強いがないましたが内 一層解系の手を終っていました。 一般のはチャッカー はず ところと信す

上二月に巨大牛站に用で豪雨を (日、県口附近。文勝軍を駆破し) 治原に長を進めた大泉部隊は獨

二十七日には市労日にあっ紀千五 権職権航水多隊より産産網絡の学

朝鮮中央防 **你要員會**

自の敵を復興し鄙の戦死の自四十

餘名を出しつ、これを解取し、清

一議會開院式 既の熟蔵ともつた難軍への献金に、相次いで護揮する有機なので **(東京市語) 支船事態が生以来隣 てあるが皇軍将士原間領男献金は** - 直囲を実際し常局を感激させ、当せばこれが事務取扱 恤兵部を獨立

臨時議會開院式行はせらる 行と貴族院及業議院ノ斉山服卒ニ帝國議會開院ノ式ヲ 是レ朕カ夙夜総念精カサルカニ依り東盟ノ安定ヲ職保カニ依り東盟ノ安定ヲ職保

頭に近海路長の佐使第二会主風海。」には同十一時五分器度侵破糟裡に「【東京電話】保院式も高りなく終一十分休敷した **奉り松生宝菌、宇佐美佳症蔵官長** し動語書を拜受過下しこくに謂り なく国際のと称へとせいれ、此下

浦東に於ける交戦は

廊に着かせ給へば、近個首相は 平月で聞くさせられ、記述「加油と生上の職力では大変をの御館行にて含む」過ぎより開始さ 事變以來の大激戦

悪辣極まる敵の戰法

川島内部出記官のお作せる動画出、爆弾の敷及交戦時間から事験被生

株下にはこれを関手に振りを結び、側視器、同十五位新事を関用門、「「1-た四目の楽癖院本に関すたる戦許を関づ、天佛の魔は「く宮地に適側総代き」十一時四十八位田宮小山游や遊長で、18年後をは耐かに関明とは

衆議院本會議 間を置し、趣草委託を捐名し同五に関する整客文の総単に入らべき

の財後部隊も身演派で近く北上の政北上することとなった。荷俊四 津浦線の敵軍に對

反對論强力

國民政府も狼狽す

して注目されてゐる(楊厚はヒ貔(此と名首相)

スルニ外ナラス 一股ハ治國ニ累亞ノ平和ヲ確立セムト



・1-1-1-11日ミニト・人グソリーニ氏はヒトラー機能の招請を 遊左の如き公式コンミュニケを観表、ムツソリーニ首相のドイツ 遊左の如き公式コンミュニケを観表、ムツソリーニ首相のドイツ についてドイツが経げ合目さっこ前地震を守つてみたが、三日年 受職九月下旬ドイソを訪問ヒトラー機能と會見するこになつた。イタリー資相ベニト・ステフリーニ氏はヒトラー機能の提請を 歴史的意見が行はれてきとなった路

エートの麒麟いより、高性化しつ くある抗機・獨併南反ボルシエガイス (風作戦)前紀の結果に関係政局に重大なる 悔俗を贈するものある。時候もコーロッパにおいてスペインを獲る國際政局は徐々極速を難となりつ くあり、極東においては日文紛争を関係としてソ ある。時怕もコーロッパにおいてスペインを獲る國際政局は徐々被逐多難となりつしあり、 ヒトラー線統が一九三四年五月ベネチュアに続き、ムツソリー

かな場所を現行の順手を交はした 自治政府 献に多大の打し の腕手を交はした - 概備を進め別等中央の名の政戦散 完全にとれ、発に國都線長は劉徽 | 内地と同様十月一目順行するべく

情に関した特例を制定する成名を理管は三回組織し関連に放ける質

界何力者代表百能名は三日協議の【散家は三日問題】 チャハル省各 けふ成立式を撃行

| 「原名伽尼等に就て廃電洗融することを最長日下る住館が別解、標例、 部たので、来、六日年前九時事か の一回別館中央的写表式館を開 館、大樹宮大蔵社の下に別館及り であって、東、六日年前九時事か

新政権の正式合稱は採用自治に府

することに決定し

チャハル省に 支排猶豫令

まこかつて世界難更に定さる出たが、同者住民の限づを活躍し

院保上海 除保送で くくく

涵

にいってチャハル省での違った **売水は三日間盟。 芸宝は全次事**

一発中であ

我軍黨局布告

化学 (本語) (和語) (

と終し、取り尺方の隙。て、第三國の刊簿を演奏するが如い、「下、南韓近くに落」を目標にしての射撃数火等より込 モット・ピケ競等の租界要地への場所投下スはソ

李濟琛ら北上

廣西部隊も増援

馬蘭に集結してをる第二十七冊、

一海附近に集結せる

に基づ壯烈を極め戦の大部隊は早くも動格を来してをつ

、第三十八師の節に射し魯攻戦を明靖、脈線〇〇概據地を認した東奈安は最麗を辿れて節上宏に現れ嫌戦を明靖、麒麟肢々らして天地(建沛線劉官屯四日同盟)劉宮屯を中心に附近の短節を継続中であつた我〇〇宮師は四日年 朝六暦三十分を押して金兵力をあけて唐古

取な機能を行い副頭の炸盤は附近一帯を提照せしめて異情量をとして原軸を敷ひ、我地上部裏の副戦と相関って肚然を核めてあっ

【津浦線劉寶屯四日周盟】〇〇部隊の飛行楼〇嶽は四日年崩火駐半過き隊の開業を衝して出ば屯の上学に見ばれ射面の威速に向って果

【呂官屯四日同盟至急報】○○部隊の攻職 對し、四日午前六時半を期し總攻撃を【呂官屯四日同盟至急報】我が○○部隊は

空軍も猛烈な爆撃敢行

居官屯及び馬厰附近に集結盃動中の敵軍に 党で我
空軍は四日朝
夾唐官
电の上空
を襲

敵の夜襲を

廣東の飛行隊は

化に移

〇至是里道班職人一時戰眾方面, 9たらも交職凡を一時間にして戦争総北方庫地に對して政の役割あ 常熟の敵を爆撃

地の上世といはれて 第5王聖といはれて蜀を、北宮 | 正典北方約十、5)に柁頼し、1ペーセントの健康な意趣、北宮 | に一兩日華飛行は司主命を総化行法に日間別 温泉東東野洋原は「徳々財中」。下中三島つたが、発 台、後に「佐屋施設の単化に作めてる

の段描述として生結しつつあった。我海道航空院の果敢

○本川文月氏(須朗 新液角 支店 (本) 四月八場天頂橋((本) 四月八場天頂橋((本) 四月八場大門 魚陽祖 支部 (利) 四月八場大門 魚陽祖 支部 (大) 四月八場大門 魚陽祖 支部 (大) 四月八場大門 金原祖 支部 (東) 四月八場大門 金原祖 支部 (東) 四月八場大門 金原祖 支部 (東) 四月大山大門 金原 (東) 四月大山大門 金原 (東) 四月大山大河 金原 (東) 四月大山大河 金原 (東) 四月大山大河 金原 (東) 四月大山大河 (東)

[上海四日開盟] 我擁地植物部隊

一般に続け、日常器を序型、敵

層膺懲の手を

者理経了接世のため

延べる他

部の原理としており、十日内部上 實化二日同盟)察哈康作戦軍の 大泉部隊 堤部隊と連絡 事館を射機せてものにして既に支 なき非職階段住民の民任する地路で、支那堆開墾の目標は明かに乗 那な軍の康多其事には全世界の繁 であり、且つ外交の局に高り漁街

脱を見く無事間返した

洋学和のため酸熱単をおこしたうながにその浮を知らず、 西波と東 |関植液を買う、今回の如き行為に 山岳上の稜線上には小林部隊長以下の勇士が

質に正確な砲撃ぶりである、

今夕放送される

深夜の愛國結婚

(別員は留学を守る動士の一家)日歐田國の國されることになった まるとつて吹込みな終り来る十

渡地頭覆

頭腦邊

の必携難!

0000

-:1

日本樂器

なく太陽の真射に属さる。こも山上の形士は僅かに、この寺蛇の

【卅一日〇〇〇後藤井特派員】 一年の走した朝はサ八日が際に交もや地田の間でする三七八高地に向って耐六百の兵力で大統不能にもを對して来た、不動

体的製に聞くてみた小林部院の勇士は折構の匿月夜に勇闘助山をよち観つて来る船部院に十餘度の実験交響を行ひ から谷戯めがけて突き落されるなど、到っところ鬼神の知き勇を願つた、これが爲め目に除るやらな大部樑の敵も疑大ी敵上に身の毛もとだつばかりの決信なや謝を演じ、盛の朝唐、信度等四、五名はたドー人の我が魅力の賢に厭趣

仅便を退けたのだ、この山岳上の大船戦に後も観心第一線の形士を慰癒機関するため介は廿九日年町入時半,杵村郎 |龍して潰走,谷底のがけて飛蹄りらものも「り文字通り修飾器と化し去った。我軍の自傷は長たと二名、昆中殿の

用中間の無戦の後を思った。 地の地に研察権を立てて『火盗女兄

も涙こほるる山頂の光景を見て泣

欧圭生液でロル

種"

兎 安價分讓

万日(一日限り)午 前十時 ts 映寫開始

早朝興行

く安置されてゐる、

は良く作ってあるなあ、あれをこの脱揚で思えて胸かにりさげ

褶 北文事變

1

·蒙

>、からりと時れた日の寝宴に爲外に强く、○○○から我軍の徒遇を阻ばむかのやらな嫌護河上前の急遽を纏升で

民政が代謝士二野が良氏を慶長と





る関もなく深夜一時半から結婚式

|の人々にまで翻訳の風を描き起し||める||中に立過観討?器夜の愛國||地||同三回、跛獅鶴副謡取の村杉特報され余半島の詞者は勿顧内地||ラデオヴアラエテイ『慰問数につ んはまたもや五百回、京新郷院生干代子さんの物点は、常時本訳に から妙器される『八回歌問の夕』 金から――黄金町三大久保護書き

金から――黄金町三大久保護敏さ

男二名、女二名津四名と牛二郎は

たつた、同市協は全鮮出指の大市

| 国下勝重取闘へ中

い

つも新車の

*

うに

記念大市を盛大に撃行することに 立十五層年となるので來る十四日 京城府景家が市場では、本年が測

た適所が江州島に向ふ途中、江華 か・飛行二十名、牛四頭を崩破し

日午後五時於江流在百郡副東面

家畜の記念市

所死し短りの東京

年は、個路に

郷田後援職盟扱いの泉田歌問 皇軍に慰問金 お茶子さんが

たらさんが十四、新町正窓の御木

圓盤も出來なし

線の「小路下際の町に描き出され」

新たな感謝を投げつけることにな一よって音楽合唱的で放送される。

を通じて日本全國の銃役の人へへ一職俳優井柴四郎、村田知常子等に

末国のために飛込み、高位の代的

ラック1合に来せ本塾に引致した。ようて校開館の用期を聞ることに「影響の一味四十七名を一者破野ト本町路はこの脳前腕部底的破壁に一では明治町の株計館に集略よ合百、金を取ると云本株屋町のダニで、 日午前十四四十五分京城本町署一相温をつけ合ひ密つた者に貼けた

本府文書識では時局職

はない。 のかい。 あかい。 あずり、 ない。 では一般の計画で

妓生の家で御用

旺報二日午後二時京城旅送協議の | 靴一足、時制一箇。買つてやつて

公道五百、同を硫銀に頂金にラン、妓生の飲むを買ひ僅か一日に二百 庭田を使ひ込んで株逃げた公金の

少りに別 戱

梁二氏、第一馬車、「京場関底町四六の一九〇アイスケー宝に配きこのま」

マルワイ号

ルマ軽快草

ルア経済軍

價。防飛·無·調 値、水はるの で式のが です

町馬傳小・ 橋本日・ 京東

部賣贩場工車轉自口山

の手でやつき安全に命を繋いである、一窓の水文那兵の暴虐に負傷した避難民が皇軍の愛掘と利用した影響の中には四道の米の色もあせたに主尊が安置される刑害した影響の中には西道の米の色もあせたに主尊が安置され **十ば腐爛して横はり異臭鼻を衝いて例へやうごこかを並んやくと、どころよくに敵の死體がからくと疏れる。そら立つは胎覚に向て石とる** を選り、 この近の上かっ葉子の位上から基本の近光がある。 「ないのでの対象観を受けながら、 脚機して得つて行つたかと思くばほからのでいる。 を選ります。 では、 にはも悪い、 この近の上かっ葉子の位上から基本の彩土 てうに思い、斃え立つ目前の新戦場の山から山には銃破撃が得となって数。後つてある(数はは新戦場を形式汽井監修数) 線香の代りに煙草を手向け の骨獲し 靈前に手紙と慰問袋 たかけしれたでは照然できた異説吹きつけらのだ、ウェンくへれてゐる、 はを釣くできな簡繁との正座に來ると何時の間れてゐる、 はを釣くできな簡繁との正座に來待さ中だ、第一の高地には 〇のが莊敬裡に來持さがつた山に向つで一齊砲撃を加へてゐるば起 のこったが、傍には情の水がビール液に二本も野水に流伏してみたので我軍に助けられ苦しいらめき撃を立ててある といふうめき幣が意眠から越る。近よつて見ると既に生色を失つた 支郎に事兵の一人が左足元を國頭の破片でえぐり取られ四日間も唇

敵陣地でダーンと炸裂してベッと異煙が舞ひ|上少扇及び柳澤少尉以気をゆるがせて頭上を通過したと思ふと見事|米の地震より「異螺を歯幼尾との呼がドカーンと打つはなるれ躍丸がスズーンと空|面のクリークを選呼 離れえ自けてたてつづけ最もつけられてある、後方の〇〇高地からは妙で蝦丸の種を襟ともせて同歌部 所謂語の高地ではドカーン、ドカーンとCO側でO配が敵は地めが「とり撃し出す近職職、膨脹能の十二をつとは一日年後関度獅子林殿議」

然をして態飲せしめてゐる、即ち 中華リ奇せる域を開返しつく連盟 預問に抵一や野な際は一気がおせる際がさせ

その原肚無比な原因の通識は明く 十分達にこれを高温して野子林町込みがり込み、同四時三

酸師から那来で弾丸の中を所収ク が関い。 一部で上等兵以下五名は狭死 龍の先陣を建つた漫画部隊の地上 の端緒を作り何わる数似だも貢はリーク架橋を完成、同部隊の実践 [上世三日同盟] 獅子林的張攻略] 尾上少尉以下 豪膽な敵前架

一両方)の既顕に於て名祭の罷死を 動を関したが廿五日応里村(良雅 三角弘氏戰死

獅子林砲台奪取戰

所に遊跡が作の贈収〇〇名な人、成留中山郡宝製面仲が則立山北 野官院が現場に急行すっ一方守備 金品を理事して逃走した月川に り思川書は直っに非常出郷を行い [無山脈生話] 三日午後七時) を受い阻奪

名の決死隊員が今は一片の白骨と化して小なとして損ぎからいは、其處には小川処少尉られば、其處には小川処少尉ら小林が際民が顕然として来り、かの機能に至るでくて育べたが、

数協力の精神力の腸であると含ふか、正に神楽と言ふほかない、て成力を翻回してゐる、正に神楽に近い鬼鬼の哲職立りた。将氏 院員を報心、敵の銃丸の鼠の中に突入して敵兵と大格師の末敵軍氏法と、 便を掘った配台で決然として五回に及ぶ契照をくり返し七名の決死 地の我師地々々には日意座が蘇師地を威略するかのやらにへんばん 石が二つ三つ重ねられまだ生々しい問題すら止められてゐる。 と続つてある、廿五日一線に著住後。僅か十時間で石田〇塚長の 日競から世に二時間を駆してゐるのだ 山頂を極め間譲あふるる職型の生々しい光景に属するまでには

左手に軍力を持ち替へて失人、左右に敵兵、たて襲撃た大江〇隊長が手榴弾で右手を負しるて撃撃との職権で、衛手の兵が手榴弾で右手を負しる ツニ〇九〇高地を見ろツ』と叫んだ、見よ長が双眼鏡を脱して『おゝ、やつに、やつたW母ではあるが繁花なかとなせられる、突如、北川部の母ではあるが繁花なかとなせられる、突如、北川部の 切つて切つて切りまくつた。本、在大関の音が壁 挑席した敵共の作つた権盗がある一人一人の塹壕がそのまく土敗間 燦たり皇軍 三を

歌へノ愛國歌ノ 想へく 戦

線



















たった 神代 田内に 電影響・土 郷田 正 電影響・土 郷田 正 電 病院

病室ノ設備有リ普通病室及隔離 H H 電話光化門のごうない 病 院

SCHOOL 京城府西小門町 いる34日前市・別職家松富

銃後に溢る感激の献

菓子屋さん

日の子伽を取りた在裏地看、同時、自分の長地一層を魅力して出路後に大木が高の質素にも次の側き電。自分の手から進し難しの子出路後に大木が高の質素にも次の側き電。自分の長地一層を魅力人に手充し

枯草を献納

戦死を監悟して母親にも髪の置土産

男猛愛機とともに敵陣に突入 おゝ壯烈無比!上海空中戰の花

A昭田身の少年総巻兵者田朝二一散った、この北縄無比な龍死は由|

朝鮮人側府民の赤誠燃えて

戦地から香華を供

【中選】中国協議学科報館、現代を関しておおります。 「中国、日本の教育の主義、日本の教育の主義、日本の教育の主義、日本の教育の主義、日本の教育の主義、日本の教育の主義、日本の教育の主義、日本の教育の主義、日本の教育の主義、日本の教育の主義、日本の教育の主義、日本の教育の主義、日本の教育の主義、日本の教育の主義、日本の教育の主義、日本の教育の主義、日本の教育の主義、日本の教育の教育の主義、日本の教育の主義、日本の教育の主義、日本の教育の主義、日本の教育の主義、日本の教育の主義、日本の教育の主義、日本の教育の主義、日本の教育の主義、日本の教育の主義、日本の教育の主義、日本の教育の主義、日本の教育の主義、日本の教育の主義、日本の教育、日本の教

■三十銭を三十 | 日飲夢勢に國防 | 職死を遂げた佐久間中間以下の道 へられ疾霊と恥ふに相應はしい、

五年の生徒に日曜日も放進せの 極、実し重新加と木材美術製品の情報・販客に配養へ入れ。子人館の年頭に周、「物別地に愛山流波の貨物別地が総一の整脚袋を贈っこと、なったが歌「場解に南山に渡の貨物別地が総一の 一下歌脳観を前郷し場めに立て吊車」「主要」二日午前二時二十五个金

一数の斑髪師を作いたが開意補係 鎮門に消でも整合板 と離火したコレラの頭線鍛大に 一名が高正亮。しばに続端になる。と述って当内に依て進山」複支方面から前月、四世 したがその、緑に端離落生が言版

の上二十年後七時十七分大郎即務 11111 á C



科学の新規格響

寫壇の重爆

パンメフイルム・お馴染のオリクローム

海と山。1.000円懸賞寫眞募集中 (詳細は裏翼材料店に有り) 郷熱

オリエンタル寫眞工業株式會社

あと百世を課まり次位費つて

十三勇士の武勳を偲んで

灰新たな合同告別式

御技久所剛祭は一月午町十時から【新森】風防焔人物主催の私軍武

『ステラ・ダラス』の代際文句を執続

小國映画界は火統節天人がサミユエル ゴールドウキンのために、彼の作品

陥落を背景にしたロシア七ば○独 歌の物語であらがブルガリアの 「咳嗽器」である。これは原順 への大物に獨師トピス論同作品

外人部隊の物語、主演決ビエー マの大衆小龍の鸚点指で要音で記り申請の興品化で生還のない室の マの大衆小龍の鸚点指で要音で記した。 マニール・ヴェルニズ・サンテクジエペリの就墓 密集 かあん、ジュール・ヴェル

の主部はアドルフ・フォール (4)、いづれも近日付明 大スペッタフルが呼動になっ。・シャルタンの一線風。等がら り ココケーコー しょ・ス・フ

宣傳文を執筆

『ステラーダラス』の廣告に

バム・ド (聯合通信) の記事に大セン

戦争受到朝が出院を占のとことに

大小保軽版が入り属れて宇朝暗を巡じ アンに見る。皆能の神戸を葬めてみと



エクランも戦時體制 秋を彩る軍國色

おたがと思され、献のラインア・アレーに戦争も高ににおに頃上のものが致にいる中でに重要なな愛國婦人等が行が、表される。当て外國興趣は、こともは、イヤに、東西の一個に乗りてはされて、このが発展、先の勝を疑つて弾道化療が變が、今年は、中週でからが中、撃る秋、「財政のれたが、以下各様とと戦を戦かるが、今年は、中週でからが中、撃る秋、「財政のれたが、以下各様とと戦を戦かる ろうめ を動き、全題表、官城等を取り、衛外

脚符職は四ペンガルの館駒芸

めに死んで既はおばないかい

ーロウの二人が主演してみるフーク・ゲーブルとジーン・

けるばかりは、何だ、そんな単凡となど様へてい

天皇陛下のため、國のた。いことを称れる必要はないのだは

死は歌うしくない。歌うしく 中陸技の顔が、親公兄かのやら

村るともなべられなる新局・中院長 に述った。

に殷の歴に能へつてるため 中陸長が、歌を動り上げて他か

乃木さん

脚乃水さんを描く日前 **企用の軍機所 期往** 班 直及略 全中心に示 日活作品

支那事變記錄映畵

我主張をフィルムで世界へ

質有の非常時に関入した皮状に強

十月には第一回輸出の豫定

一と今時のラデオ

支那事態の労能により日本が未一覧マーケットに向け一巻に輸出し一

都された原来における日本時間の

ぬせ離るつい直。正は肌に

を肌にてれ取とり 6 3 も疲認

中途に溶崩れない 浴工合は程良くて 終ひ迄同じ調子に 用へる經濟德用さ

員に家庭の必需品



泡沫立ろは細かく 作用は頗る緩和で 用ひ心地は爽かに 石鹼中の標準品 石鹼分が残らない

東京·爾國 〇 丸見屋商店



1 でま日七 りょ日四 三 一 昭 直 年 作大組織ペンタリポロトウ 通洋エナーアン・ムアリイウ 画画画画 種 復 の 無 暗 演年成太遊島水 路糸等 章 演生子の月初期に訪り市 大 原 の 秀) (スーニー環網伊大日東) でまれてりよ日四 会 大 路 一 賀 眞 同: 同: 同: 同: 6.40 3.00 11.20 在の 父 品 明 8.25 4.45 1.05 記報 文 北 市 上 8.35 4.55 1.15 位の 世 領 役 強士 生身入小・後上百人大 二日より冠夕六時 (北支事 世 前 西 神 志 城 三館 央 中職機能 場場削城京高 画題族教師 開日在二日に別九一日三月九 スーユニ海上支北日朝日 スーユニ海上支北日朝日 ル学部ペナルマムデのは日、やち焼る (新願に別記さり祭けばおに膳左下丹分生課十分年第十十分年)とで三八大の り上分上別へ後半十十分におけては高齢りよる 脚田四一では日五一りよ日二 近日助之権甲版・第二版は 山 み ヾ か 奴 ス ー ユ ニ デーサール くらばし今 **東京で** 第二年 マ で加り で計 すまし致演体 7 DIN 2. 义。 座日朝 5



戦線寫眞ニユース

【上】〇〇隊の渡河【下】日軍現己占據懷來靜海——天津の空に浮ぶ下、「ドバルーン【紅空便】

しみらも軍の士気重上旺盛である「積留しタリータを利用して響山縣銀」と同方面は秋色深く音楽跳に「キロの金岩毛的近に解育力部隊が

職員に抵抗する敵を觀過完全に占職員に抵抗する敵を觀過完全に占

【上部四月同盟】置山縣城西方

敵と交戦中 金家宅附近

避難中であつた長谷川部隊は一日

| 遊家中四日同国| 平級総に沿い|

でして肝管田の路客は脳に多大の一般には第二十九年の第三十七節・ を数据結する医院の重要的機能地 走しつ A あり捕虜の説によれば馬

天神四日间盟。所官田は剱兵が「方東子牙間にあった敵も宿方に流

敵に多大の打撃

劇解を與へてゐる、一方唐官电西 三十八師が存在すること傾明した

懐安鎭を占領す

われに何等の損害など

厦門の砲台司令部等を

慢渥なる勅語に

兩院謹んで奉答す

二世龍ノ平利ヲ瞳立セムコトヲリテ中華民國ノ反省ヲ促シ迎カ

ヲサケサセラレ管理ナル動語ヲ 食すイ果シ車認認協開院ノ空式 文批 天皇陛下庭ニ臨時前図韻 (東京語) 恭夕惟ミルニ報書 が「感恐懼ノ至リニ任へス違ミテ 量出ヲ難避セムコトヲ期ス - 臣 ス市等語ミテ和百ヲ泰體を傾重。 聖屈ノ深遠ナル洵ニ感徴ニ贈へ 示サセ給フ 無点協致ノ任ヲ増ン以テ 衆議院勅語奉答文 其ノ任ニ営ラムトスルコト久シ 漁往シ中華民國ト互ニ提修シテ 施フニ帝國カ東洋平和ノ砲立ニ 服フ 臣等恐億ノ至リニ場へス

トラ宝マセラレ関東・勝フ所ラートラ宝マセラレ協フ 医等級政指カール所ナリー 大学の関東・勝フ所ラー 親ラ起スニ至ル 類ニ 市端ヲ滋クシ送ニ今次ノ郡 類ニ市端ヲ滋クシ送ニ今次ノ郡 捌ス 是レ偏ニ 陛下ノ御稜威・池雄ン党ク忠勇ヲ致ソ國威ヲ宜ニ 洪大サル向ホ且ラ彼カ反

かといっことは質に重大なこと。 一個民として如何に今後に高する。 一句に描へない次別であります

並りに構へない次第であります「製紙建」また。 (記) 村町を開はり属に遊儺感激の「御節台を飼った上参内石奈舎文を

がいなします

遊(体献

「東京電話」四日の貨板就本資語「東京電話」四日の臨時職所開院式「東京電話」四日の貨板就本資語「東京電話」回日の臨時職所開院式

貴族院本會議

杉山陸相全軍に訓示

見たり、而も事態はいよく、擴

【東京元語】 聖一院本的語は午後

一時四十五分時間全院委員長の選

に賜はりたる動師につき発答文の

本語したが、 東部して初編、力を関する。 東部して初編、力を行うでは、 東京である。 東京でなる。 東京でなる 一 聚 阿爾久次郎(民政) を明教して福華に離れば阿は起立二 衆 町田 忠治(民政) 種に確認し至之を可決、次いで参

院委成長の選戦を行び開業の結果一種に開拓一致之を可決、次いで全

機格納庫を遺滅せしめ、敵砲台鷹戦せるも我

れに何等の損害なし

の手許において作成せる報答門案

起草に入り先づ松平福長より福技一般に関し、連首を香曜し回風の別

に於て貼りたら形成なる場所に置い、在形成は「銀子」と、「現金元」に向います。 大田 () は ()

で組みした財活を音文案を開題す
の「既然」登地、起幕を証的に京 れば開出報手を以て之を迎へ制致 起立機長一致可以、過後「官事の一

衆議院本會議

松平議長話

プ任ヲ竭シ上、唯下ノ蜀。豊臣の十三子城市、経許を立てのル(カラス、 四韓信田藩 【『京京范語】家源院本官議は午後、辺待久以子終局ノ目的フ て互通するととし同五十四分数段 委員の歴明の結果を報告したる後 時十一分休慰 常住をほびは明日の委員館におい 三時四十五分與阴水記録より高低 【明日代語】聚都院本的版上午後

選次により記念政策撃のため同二 電位差数の選撃を各部において行 午後四時四十五分期間、各部にお 街し同五時十分戦闘がくて四日歳吉氏会校委員長に存 置所必必敢を見てお望し、次いで「ふこととなり四時七分一民所書、」いて選撃せる各任委成の氏名を襲 聖旨を核體と 國民の附託に應

おりませんだ。

煅房、 給水用品

藤花印

の鴻脈に於いて鷹然配院の由良少[上派四日同盟] 三日の野山附近

や機能しその主

我が翻逐艦O型は三日午明七一時は名成の様死を遂げた 汽船擊沈事件

ポコパ ンプ、 機手 パ

大阪市西崎本田三大阪市西崎本田三大阪市西崎本田三

蘇聯に多大の

一の前城北

關印、※印

ッアゼア映版改革他に引起き二日中海四部における体験が船ティミ 【モスコー]三日回盟] 去る [日地] 紙の如きはコファ 一のかかる頭切行信がそのまま所む

()

パクレスパルプ

よる瓦明鉛接と切断工法

新版購入の 新版財産 の新らし、

所業工津根

蘇の對支援助 下路骨化

捻子·

誕 工 具 類

大阪市西區新町通門 自十三 大阪市西區新町通門 住土三 住土三

市語報門內

镁店

方面に輸送中の蘇聯飛は最近外豪よりハバロけと日下外蒙経由上海、日令フリユツへル將軍船と日下外蒙経由上海、日令フリユツへル將軍 一城方面の敵と相呼聴し竪断な師地

○○院を以て之

含種與材水互機械第門製作

配五見類製材用品

職中である

懷來に治安維持會

る、男子は必ず兵士に風脈微樂さしな手段で慰殺されたと 近日宮際「色に焼りつぶされてゐ」総記され公衆の面町で見らも無数。 近祖に派化し市中各首の際には戦リス船に乗り終らんとせる支那盟に承任し市中各首の際には戦リス船に乗り終らんとせる支那盟 福州の形勢険悪 商務印書館の

【上海四日間四 四日午後一時十 敵陣地を粉碎

人は香港に取る歌雕し来り何れる上げ、響風流に撃しい鬼殿に支那 方面の軍職も限定から会議を捲き際は極度に選してある。また区内 加立微吹子る有様で支部常局の横 の男子なき家からは「戸路り三十

分銭をⅢ○機は剛北の画務印作館

が砲車上部 以昨二百夕には順家宅 | ビラを換布目下校路標告中

キロに縮め質川縣包頭の開動を胜 の題が部隊との距離を値かに対し そらば 英派師剛最方面より孤田

不家宅に殺到したが、賢山縣城内 ひで昨三日野山縣城外和六百米の 岩占領後の魔森部隊は破行の勢

上海四月同盟」 鼻裾 観及び鼻形

投降動告

一般兵が潜入してあること解明し

ので我が軍は長ら非戦闘政の安一 はなは非酸断風若干が残留し之

南温に抵抗しる敵を配職をはて配理。逐次職果を捕張し途 開始せる心理が一直被訴訟は平明十四軍訴訟中の戦は地に突入 【天津四日發同盟至急報】四日午前六時半を期し削縮を

符つてみた第二線希要邦線は四月午期六時半〇〇海域の暗線描写

【唐宮中四日前盟】三日夜蘭斯二百米の間近に進出、夜の明くるを

に午後四時唐官屯を完全に占據した

赤柴部隊

海軍省副官談

「上海四日间盟」後間部隊は獅子 |全を関すったの出版き枚陸部件の

後六の郷宮 原は南京諸門は、「、上海方面におけられが海北郎」日五十台 大砲百門、高「東京帝」沿北宮副宗諸門は、「、上海方面におけられが海北郎」行機、「武器は飛行機二

三日午前八時軍艦〇〇、〇〇隊は海空和呼應|に對し砲撃、爆撃を行ひ白石、湖里山、大艦|海軍司令部(原門進入廣東軍本據)及び飛行|なる、なに乗り返しようなと戦の撃撃をしており、四日・道・三十分が北部に軍攻撃—— | し切門に進入して暴威を振ひつゝある廣東軍| 角の各砲 むを大破、甚大な損害を興へ、関門| 臨り進り日に悪なり難してしなにた。在は「は、これ」 淺間部隊、顧家宅を占據 分解した、なほ我が爆撃に對する 敵師地に保証飲何を投下、これを

大砲百門、高一制した

在 面 面 社會資金專商田和

4二日丁二町岛松區西市版大

ます!

維命領が成立した 香港の排日 空氣思 化

の出来事もお天に喉へ邪人に位置日本者、ここは和みに表面化し些か あり今朝十一時過ぎ止胡蹈鬼路に (水がかつた、被歌は脳子を健擬)が5月本人住家に敷閉の石を投じ た程度で大事に至らなかったが 加へんとする間向温度化しつく 【香港四月出盟】諸地に於ける 人引揚終結を自聴にして今後の

西店工場ニ限リカタログ品

マツブ后海発動機

121P=1151P在欧

で北支へ、四日換8五日午後三時五十〇二四日換三時五十〇二四月日報 (1) 皇の祖子 (1) 日本の祖子 (1) 日本の祖子 (1) 野政逸 協會を 上面。

て破壁さ共に敵の水流に突した同なら時間と水流に迫り投い)陣地よりの砲撃終了を待つ飛を勝りとり人敵の恃む巾四米五〇高さ五米の壁を勝りとり人敵の恃む巾四米五〇高さ五米の壁を勝りとれる高端に関する時に

深に差しかけ戦友の屍を繰り越え遮二無二突異の難にる歌を言、我が將兵は唯一の梯子を水の場と共に敵の水深に突した。ほどは歌に

青縣方面に退却を後四時所官屯は完全に赤紫部院の手中に 竪磁を誇る陣地を放捌雪崩れの如く後方馬廠入したこの猪突に敵兵二萬も總崩れとなり、

納められるに歪つた

唐官屯陷落は

軍の機器に呼吸して猛魔を開始した、朝夜から降つた前に道を飛は





S K 式 A 型 **Ľ ユウガ** ルポンプ

大時間提供

中西巴立資城北通四丁目



東門関作師◆**九窓勝三部店** 東門関作師◆**九窓勝三部店** 東部新町七三回番 様常大阪八コニハ番 アゾトマシー切

等換器具材料 (1) では、 大阪中にでは、フェー大阪アサビ油倉 カイログ屋 電影線 (1) できる。 室內用、露店用作工用、嘅山月 製連直販・カコログ品

京電對強銀戦は司経き午後三時卅|五分から 安田 (球) (田、田代

殖銀、京電を破る

早川の本墨打

本年度朝鮮神宮田技『阜球』の京

神宮卓球競技

十二日腺科で

打を放つた (建戦五時半) 回目第一球を狙び左中間間越不極 五で硫銀勝つ、なほ硫銀早川は三 後半所銀にいる言りが出で六人對 (墨) 三氏治物、尿泥光夜で開始

◆ 通合時間 | 時間五十五分へ| 1 本 にで、長井公岡・稲原へ三 を打り、四本を打り川へまりり。 古本一会選求産 | 日本一会選求産 |

十八分から汽河(塚)田代、馬墨川王將より侵磨而送景の後、一時

(學) 一氏常們下不一回職所購買

の四日から京城職場で開かれた、 京城實表對本一里工能明華國防器一

2, 1

府廳勝

補回戦で不覺の遞信

加手達球し府原用上生定して二長版に入つて十回裏壁信の古貫に関し八回府館一點を酔い、延

告時四十五分譽加五チームの入場

式、版作脈盟門長の機関、京電中

宮殿跳送季にある大陸に名献を任。「COの流 い献た金だが 私すべ | 四十圓二銭 | 江原道龍陽郡 | 淮陽東昌内帰第小坂人曾島 | 同一二十二圓九十八銭 |また通々小鹿島生生殿の倉御婚さ | の十二回 人が組織する既心療からも卅間と | 大島邦:部氏ほか同間の八氏から 全州師範の二敬縁・「訓察から、「京城女士共乗」年生西閩年子さん 単軍財配金には江原道軍隊局煙幕一関年生展昭三君が夏休みを利用し 小個人館域の四十回二銭を切めば、て深原等に着っガキやハンカチ、 國防基金 納試合 ・銭、生た北米倉町

九月四日(詩)

五十圓 战略左級师塔化前壁 二十圓 战略左级师塔之前面中 十二圓 用單 姜 都 载 好里 塔托公东对通景校完章 同一大 通 战略左级称左前面中 十二圓

朝鮮防空器材献金

11年 金昌班 经电传净机路化面置 二十圓 咸南安净机路化面 新生 木村 羽天 「野生 川村 淋漓 一十回 《咸南安禄郡安道面中

士、士

原城府北米百町一

京城府北茶公町六九

五圖 咸南安邊郡塔花而松龍

京城府北州京町、四

十八国 京城府北米台町一五一十二回

皇軍慰問金(敬称を省略

申込はハガキでは城份建筑。時から城大阪科議党で行ふ

シア拳闘器のナンバーワン、サ 十回戦を擧行

光山・サンソーニ

· 及, 阿烈人不用品, 中公宜 · 政

こと中島のホーブ光山一郎「朝鮮神宮體深大徳出場選手に對し

鑑道局では今秋行はれる第十三国

統

今秋神宮競技か

神宮競技選手に

から京城運動場で発行される 間は左の延り

現的動物語(「する通識整確認合は七日年夏丘庫「難食動物理行の選手産では豊田メータの十四顆をメイン・イベントと「汽車数を三期出することになった「四**国七十六銭**京城等直八 する國際発明試合は七日午後五時一般行協問題行の選手章では参加メ タルを提示するを受するが利引期、内金剛種長潤里、乾、昭の路種は関係行の選手章へ自選加。三個十三銭、江原道中陸

三圓咸南安邊部安道面中坪 二圓 成鬼安汲排结花面 ● 加山北央七九聯隊研布

文

たった。 一型の 専さん 乾信一郎 の 奥さん 乾信一郎 の 奥さん 乾信一郎

一圓 咸南安逊郡培花面照川园 化面 塔化公立登通路接阶段一面十三线线 咸南安多柳

脚手對

談會

戦を賭け

キーシー

翻譯

咸南安邊思培花而松創

累計金 六十五圓六十六錢也 三萬三千七百

学の朝鮮最みを難し、恵に面動用 開新に力を入れて来たが、既に演 展出というを入れて来たが、既に演

本所型所局では断照型所局域の截

許を國路に統一使用の計畫研究中

のところ今秋の十二

三回朝鲜丽宫奉

能数の原度を十億回に膨脹し生配者、日銀二度局が協議の上限

各方面からの非難は著しく簡単す 然かくの如き態度を持續する限 たものであつて、今後大銀行が 川磯殿に設するの保険なきに至

上海制六

年記

悦里

木 郎

察路爾作戰隊內家軍

軍司令官完電報

大日本帝国外法總大了明末

はなったようないまだり

健用报 出放快进去

群山米取出來高

十四國 京城府北米将町二〇 百九十八圓八十五錢也

克城府北米江町一五

は、その他の関係が表の本紙。三十五国 全北全州所全州節 三国 成南のの高島の西高島里での一般で、大学の一般で、大学の一般で、大学の一般で、大学の一般で、大学の一般で、大学の一般で、大学の一般で、大学の

建設公司校指導生 崔 昭 3 二面 合照那些岛血西藏品里

總計金九萬一千八

真心の慰問金

十二国七・九銭

西山一丁五圓

咸南安汲那安流面中控

京城府北米公町、四 五圓

語集 作集 更いろは 山路なみ子、岡海岸建雄、月形県之助 古川登美、花柳小菊

金 山 出 駅 九州郵船出張所

◆本郵船乗船御車込は弊針に御顧
致します

元前元前 山中山市 10八元前 10八元前 10八元前

つ敦門行

長自由丸

〇軍衙行

本海 人 [1]

《太海 人 [1]

《宋海 人 [1]

長音山丸 城市五日日長日山丸 城市三日日

勢、我等

関するは云本語もないが、これと | 一乃至早部戦度空間戦となしつ、は北京事態に伴よ各職の影響に基 へるは勿論。能薬の食付も三分のは北京事態に伴い各職系の資産不振 | の如きは新期の食用しは一切手管 非難の聲昂なる 生産發展の阻害著し

関し財務局で調査中であったがる文化事變による八月中勤支資易に 八月中對支貿易 輸出入減少

夕強 空軍の現 打倒日本作

型手記 野を探る 1七十五十十二(小野) 者記事從智士報 主原**不**場 氏六者記事從

東京 (三島) 「サーネ・ (本野等) 人名 (森藤忠) 「スクルース (東京) 「スクルース (東京) 「スクルース (東京) 「スクルース (東京) 「カース (東 スクーパ・サーア

スウハルベーオ

すると共にまた一般に領領を要す る遠征も影迷へることになった プチ ガリ ラム 二、三の例を駆けると次の通りで チート ムアマチュア競技者 型 数正用語 数正用語 人銀行の回收

同時に銀行殊に大大銀行が貸出の一ある現状である。それがため、

に依らものであつて、関本大銀行「場の新説、機能を行びつくから出」一般引上げを断行しつくからこと「三年来の生産力制度の彼に乗り正

てに概範して何れも原度の資金職の同じの取りの知く質素の取立 「選、事業的都等はたいでき、事 にによると権団に戻いて上別権の影響に定り取り返り回り上他 にて大関の付れる選が未来して上別 でしたり金融階に窓向しつくらんに 全権出 幾の影響に出り取立金の同歌は工場、事業館能等はたとできれ

本年100、四四六▲七0°C 本年六二二二六二十六二二

より蒙古軍へ賜はつたお言葉「下」わが軍楡岱鎭へ入城

北支戦線より

【上》參謀總長官殿

鰛群南下模樣

四大

節を投げ出する

くまで強くなる

こ存知でせう、肉彈飛行機の話

へ野、上敷機の大殊勳・

の足、浮き舟」が敵似のプロス

慰問文を募ります

全部戰地へ發送 佳作は紙上に發表

が帰まつてゐました。正太と象太。『今日はどうして』。正太の家の緣側に四人の子供。子は正太の妹でし のいかい

- 14また複字、組 とになりましたが、脚とになりましたが、脚とがもつ高く盛 / / 1891-17で行きます

総間文の山

東京協國 丸見屋商店 Gミツワ石協本舗

先生方へお願

塚

泉源の動活 L 起退前决据中间

肚 會 式 株 店商 吉 友 澤 藤 島 佐道 區 東市 版 大 町 本 區 橋 木 品 京 章

を関した既小な思考 すから解析した既小な思考 すから解析した既が たいなないない。 たいにとなった思考 たいにとなった。

明治大帝の御潰品

所言の一切の理解を作されたが各国公敦地、軍人戦・軍皇帝の御道殿、神友御で十八紀日、三十二郎が四日に川史帝の御道殿、神友御で十八紀日、三十二郎が四日に川史帝を

仁川で拜觀を許さる一く書館大

労」これを洪殿工芸に演策して製造、等一三関連追所で二十萬キロを配化し 以 アルミニウム製錬士の他の化学工

の外交は劉東雄に事情を打ち明け

企て、京城沢川町一二七の田棚屋 日下取調べ中で三人兆線の上入夫旗県の修道を 日下取調べ中

東一銀行員の悪事

忠北道内の四十七ヶ所に

皇國の將來を擔ふ

一國民の訓育

團體觀念の明徴について



郡守と校長に通牒

在庫鹽消化後の補給對策

四八十四銭となり、前年秋幅

で名前は低地線を消化後の細層針(食物不足原家五百八十五戸、不足・気が

釜山の業者ら奔走

ア水電認可さる

洪原工場へ二十萬キロ送電

して市民から集めた二百五十條門 朝鮮の對支貿級はいづれる一門的 集合し慰問と言意と

として鮮色需要に光路してあるが。丘にて四十四萬八千國の嬰熙王素。五百十七國であつたのが現在は四

輸送對策

推復であり原係もあらら | 純々研究中である

【淄州】日文事题现在页來、清州 間回したものは二日現在、七十一

清州の支那人

使用人一部を除き) 潮湿ってる

「川川」の技術の歌の後に化 託見所に補助

仁川のお女郎さん

半數は花柳病患者

く影を絶る

【福州】忠北道内の秋幽は本府協

君子よ近寄る

計畫四年日 上々の首尾

忠北號基金融納を終って

安堵の金東勳知事

する完了し、ほつと一安塔の金県

銀座

シオマと演劇

PERL E/DO (0) \hookrightarrow 有御近 入代會女 なさいが な特典がござい ました? 睿

戦地の兵隊さんは

何を喜ぶてせう

| 里季鉄基でよる北京開歌の歌唱的後、亘り石修道似紫白三十餘枚、金都 | 日、倉郎三十四百十九人の久白巻「『磯政府』 忠北武川郡武川領金殿 七月二十九日、同三十日の二同に | 于二十四十六人、女子三百七十三 中同が希果町居住野客水でこの連

し小刃手を攻置行使した事件── ら、これを斡旋してくれゝば内二行战が巡疫者と共に一登隆家で騎 | 指令に供し六千回を借用したいか 【海州】保務の維持に苦しん、限一億歳したところ李華経氏は土地を

懲役十ヶ月の判決

◆卓球ー製性派(如山)2両部永両)

露

てし博を評好で地各下目がプールグたしと「含をりかば人精御の用愛御品粧化堂生資 題課 ?かうせで前名ふいと何は霞のそ すまね

す最進に値手上門お訓 -ムーリクグンシェバはマムー!:フドルーコ党共命でにアトスンイエチや生資 ・紙用 町・市・駅)在所のアトスンイエチが生資のめ来覧: 北朝名の台・方め認の案答 すまり限にドーカる 定 規 設す必はドーカ募集・ いさでき書おく切りかわに関定所のドーカを名着御頭側の様だなあび及名店と(名付 ◎ (すで効無もてつなにり込む(資産へ組本) いさ下れ人おへ「函受拜ドーカ募店」の付領アトスンイエチ生堂

すま來出募應御もで枚何で人一お 日末月十 切 締 は等日が及寄口と但 すましり送めを高賞に時間 し天殺に開新刊日 旬下月一十 表 酸

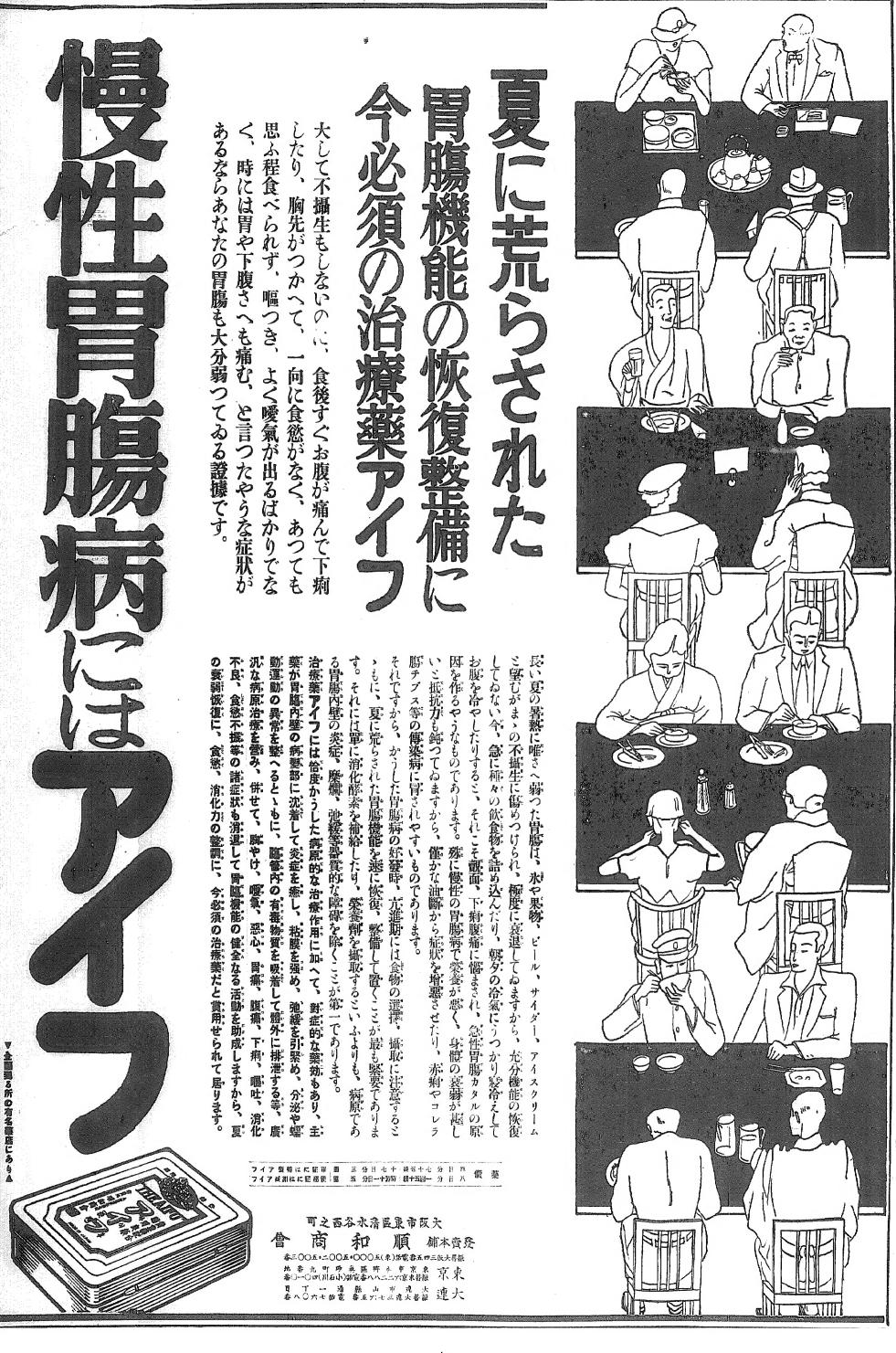
> すまげ上並に時間上上買わよ品貨等四。へ代。長度こつもを送渡の品貨 ・ (株長春泉遮御・ーブンヤン第生頃・品 景 等 四 図 「株名○○○・五 ● (株小物日本業生資・品 景 等 三 図

品景等一 様名○二 トクパンコ 菲豪電生費 阻在化用行放

様名○○//・・・トッ 時候料源学生液 ◆ 品 景 等 二 👺

クンシニバ

様名000--



勇士に戦線を聴く

本語で『突撃々々』

高粱畑に潜む支那兵の戦法

馬場儀一大尉は語る

戦功を語る傷を抱き

四勇士京城入り

出迎へる軍官民數千

恥も外聞も忘れ果て 名譽の通知を受けた息子を に軍人の親あり

職押立て 懸命に探す

の傷口にウジのわいた者もありました時以尾膜の巣師を受け、黄に 殊に領険が悪かつたので、資産者 『上月廿七日午後二時私と他』名と廿八名の質価者を出しましたが ながらポッリ 〈と語る

飲師近くまで来ると二百名位の敵

瞼に殘るは

金部隊長の勇姿

横山一等兵の思ひ出

と選匹して包削されました、トタ

に私は左腕を射たれ、落馬と同

しかし那下は日頃の信頼以上

は肉頭膜を取行して俯跡を赤取し たのです、私は開戦」時間後に貢

任務は重し

遊却しない、そこでわれり

上部下の中から十五名の賦み者

ながらボクリくへと終る

朝しても敵が停破して乗るので今。ことが用来ました。 その時私はアコセやられてある。に続りました、あとで私は敵ら射 四里役方の木喰へ無事に破り着く、す、魔が終ると腹がすいて来た。

がわかり御飯。正成べるのに使わ

せて戦縮の思ひ出話を訪っ

無がったぎひを受

等兵談

一後方に皆戦隊があるので、なか

立石中尉の土産話

と一般するといつて本葉へ健う人の場合と、開議したら誰もが踏み留まつて解し、展出裏形することが出来ないので

『高」が無かつたら今がし早く片 地に二金の敵弾を受けたの土だ。 地に二金の敵弾を受けたの土だ。 地に二金の敵弾を受けたの土だ。 がに三金の敵弾を受けたの土だ。 がに一金の敵弾を受けたの土だ。 が、一条に関する部隊送の海下とし、敵

二八度

型り (きのこの)(高温度)

けふの天氣

しくで四名が開死したら大切な戦 時に胸に備打して即を吐きました

です、どうせ助かられ生職と思かない、資償してあるのは私一人

『現在捐献に私達の土涯。天いに開けてふたのです。金萬隆長殿の

**支那事變映畵會

今夕七時から府民館 一般父兄の方々の來馬歌迎

つたし愛馬を殺すに忍びなかつた。樹りました、金箔院長殿が陣頭に

で水が低みたくて仕方がなかつた 村から後方に送り触された時期中 を忘れて確してくれました、 人婦人の活躍は兵隊以上です、 に行く要衝です、天津に在る内 してはしてくれました。個

ない、そこへ新聞記者らしい人が **処関して来るので水などは問題で**

孝昌公園の怪漢は

童心溢る、慰問文 萬八千人から

が、列州が停山する歴に敗残兵が

| 『歌で取締め北支第一線に突つたが|| 皇軍へ|| 詩集を | 京城県中 || 通じ北支皇京歌歌に似物した北支皇京歌歌の三郎と四日所崇所 金、聖徳の夏國心を接続した | の詩・彩敷を四日京城談兵余隊を | 後一萬八千名が赤心こめて書いた | 四四十二銭と朝鮮國所総統數に献 に詩は一番いと認めです] と愛麗 一題に各 自の貯金や 小道を さいて 『町一ノ二石澤文四郎氏は『自分の

| 京城府内の公立小學校の際は、生|| 五陸、十鐘と騒用した一千百九十|| 均縁からあの紀滅とした崔颢生活

別に一千餘圓を献納



グ願に一日明治職は子に寄い三

死職が浮上る

結局四門二で見大や地で、風腹の

氏に引動されて演訂へ資格にで表 氏に引動されて演訂へ資格にで表 が済んで助記率はが因なくなつた 四日午後三時四十分景城班沙町前 関力質配中のところ、同五時ごろのを削退大闘ぎを演じ組山器段と 新。校五年生。「原教」。oは同様 公資機の下に死間となって浮びる

自輔車泥棒時の三日午後八 東京日本版 **则交叉点** 屋

朱郎万 公

作山田祥

本明五丁月三九 本明五丁月三九 本明五丁月三九 经 下 容 院

本町第の不敷不内の合即的拠点につく態及に本郷が唯殺した如くその尊後に全気影形史上、東安部パン別鑑謝事物の最親人であることを自供しただけで理難に散戦を続けてむたが、京坂本町紫穂事が老部公園で影響して怪強、報謝師科六個等影響とどは会る二十九日時代

發

戦慄すべき一味の血盟

かつて前例のない・戦慄の強縮圏・があることが限明した

分に眠って一臓の歌生。他父兄のKittで展記。 無機に第一般を投入上の悪生の脅めの語ですが、この年後に「から関節の とり十四報まで発那上は、現内整理のは一人士は言ます

変まで、四回にわたり反映。何は館で公開、 びのごは 男子中で 然でと無筋関占領の由金。)が記者、今五日に午前七時か 原城日報支那事数ニュース機器二十四報(上二数前上流の



植木族科 話ついた

☆産婆術生徒募集 S \mathbf{s} 包齒

特别窜风

店員 募集

氏に取り幣に登園にて掲載す 観骨料金は削納の事由駅隔監園五十段度名は一回報に五十 回五十段度名は一回報に五十

量紡サービス ・ 事係

ト 教室を三十五番コトラ人各地外務員招聘

安中、日本人面談 安中、日本人面談 日本内のよう 日本人の一名 日本人の 日本人の一名 日本 在市场上的。 者代前是書、共和統領状況 勢十週前法。 共和統領状況 勢十週前法。 北部總十 第本則三丁目(而海坦州) 京城阿平嗣方明領第一

事保證人ヲ要ス 一、履歴書携帯來談ノ經驗アル高級ノ方 株式店員募集

次事 新宝奈月 南宮でも保証人を関す 東京町一ノニー五 日米昭県 日米昭県 帰城、雅曹左る原が人一名、 仮内 析名 原語 楽者、 引 正解實、 身級 女子 事 務 員 採 用

代

發員派特井藤てに○○○

機關車へ突貫

をうまさうに咽喉を鳴らして飲 ら、さかさにふつて手の歌に示 せるし、腹れた戦気にわけてる。のたつた水間一級の水も見当に は悲鳴をあげてある。生命一時 皇軍の敗亡も、北支の水飢饉に 顔兵なんか屈とも思つてるない リ、ポッリと落もた一流の水

側車を関戦してパイプから着も んだ、それつ、と伝統さんに機 依むのだ。 樹樹上の長七さんが んであるのだ。涙でましい〇〇 郷にゴーッと〇〇列車が走り込 が固を吹きながら腹に一杯 本関の銀やとか駄目を表現した 来ないところを見っと、 「おい、西瓜ニイヤが来ないか を確が数へたのか西川関りが一

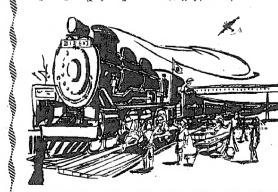
ら民職さんに美い順けた。

んまり飲んでしまふと、今度は

雪おい、いく肌酸にしろよ、あ

でない。これでは、変化とこ

ンは文那部にはない、日洛龍銀ボコペン』を練返した。ボコペ 調だった。ニイヤは「ボコペン 西川優りのニイヤとの西談は不 の後に芝居や謀談に使はれた日



人は私の愛馬をつれて本際へ報告、つて飛び込み、ことを実験して行んともなかったのが不思想な言さい。と近いて領みました結果、い手薄の敵師は毛指弾を関手に持一間がなかった。しかしそれでもなさい。と近いて領みました結果、 人に『帰蹊して飯銭と報告して下「聰敬し、夕陽の道つて來たのを幸」日から卅一日まで、御飯をたべらので私一人が辨み留まり、他の三一度は戦友の髪して行つた手倫理で「出來ません、混耀また起酵で廿七ので私一人が辨み留まり、他の三一度は戦友の髪して行つた手倫理で「出來ません、混耀また起酵で廿七

受驗料(與來們)

選擇随意師)校の職成者

圆萄葡

州寺園華 阪直 阪道

七八九 〇五九

福馬養 准差 10 屋



雷雷 符

門大東はりの

則城

九月十日開闢 長前間 京城 Y M O A 大月十日開闢 長前間 京城 Y M O A

京城YMC

程度 オシヴェ 他度 オシヴェ 他度 オンヴェ 他度 オンヴェ にあた 1495

外交 整理學、四次學校學 多個新門排停本人系統 古田町十四番地 古田町十四番地

電外

四年の 二田原株式店 二田原株式店

日本生命京城寺店開切……九月十日

